



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 内藤 亨

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	7,483	13.9	1,291	3.9	1,096	6.6	667	8.9
25年9月期第3四半期	6,568	12.4	1,243	5.3	1,028	6.4	612	12.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	71.83	70.26
25年9月期第3四半期	67.01	65.33

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	20,075	8,007	39.5
25年9月期	19,629	7,377	37.2

(参考)自己資本 26年9月期第3四半期 7,925百万円 25年9月期 7,303百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年9月期の年間配当金は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	12.2	1,670	0.1	1,390	1.9	870	2.9	93.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	9,751,600 株	25年9月期	9,673,800 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	415,028 株	25年9月期	415,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	9,287,847 株	25年9月期3Q	9,140,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。  
・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)における我が国の経済は、前半に消費税増税前の駆け込み需要が見られ、後半にかけては、その反動により生産活動が弱含み、公共投資は一服するなどの影響が見られたものの、設備投資は増加し、所得、雇用は改善傾向にあり、個人消費も増加傾向にあるなど回復基調が続いております。

当社の属する駐車場業界においては、2月の豪雪や、消費税増税にかかる駆け込み需要の反動の影響があったものの、慢性的な駐車場不足を背景に、売上について底堅く推移しました。

このような中で、当社は、引き続き積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めるとともに、既存駐車場の料金変更を積極的に行うなど採算性向上に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間においては168件3,378車室の新規開設、65件2,669車室の減少により103件709車室の純増となり、6月末現在1,397件18,921車室が稼働しております。

以上の活動により、当第3四半期累計期間の売上高は7,483百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益1,291百万円(同3.9%増)、経常利益1,096百万円(同6.6%増)、四半期純利益667百万円(同8.9%増)を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下のとおりであります。

(賃借駐車場)

当第3四半期累計期間において164件3,319車室の開設及び64件2,614車室の減少により100件705車室の純増となりました。その結果、6月末現在においては1,287件15,464車室が稼働しております。

前期に引き続き一定の解約と地方都市の駅前にて複数の大型駐車場の契約終了により大きく車室が減少した一方で新規駐車場の開設が順調に進み、加えて、積極的な料金変更の効果もあり、既存駐車場の売上が堅調に推移したため、売上高は6,137百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

(保有駐車場)

当第3四半期累計期間においては、4件59車室がオープンし、売却等により1件55車室減少しました。その結果、6月末現在においては110件3,457車室が稼働しております。

売上高は1,096百万円(同3.2%増)となりました。

(その他売上)

当第3四半期累計期間においては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上、駐輪場売上に加え、太陽光発電売上について前期開設した太陽光発電所2ヶ所が当累計期間にわたって寄与したため、売上高は249百万円(同24.80%増)となりました。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	前事業年度 (自平成24年10月1日 至平成25年9月30日)
駐車場形態	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	5,305	6,137	7,188
保有駐車場	1,061	1,096	1,416
その他売上	200	249	307
合計	6,568	7,483	8,913

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は20,075百万円となり、前事業年度末から446百万円増加しました。これは主に土地の増加(79百万円)、リース資産の増加(139百万円)によるものです。

当第3四半期会計期間末における負債の部は12,067百万円となり、前事業年度末に比べ184百万円減少いたしました。これは主に短期借入金金の増加(150百万円)、長期借入金金の減少(585百万円)によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産の部は8,007百万円となり、前事業年度末に比べ630百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加(574百万円)によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の37.2%から39.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済については、雇用・所得環境の改善を背景に消費が再び増加に向かうほか、設備投資や外需の寄与もあり、回復基調が続いていくとみられています。

当社の属する駐車場業界におきましても、引き続き一定の解約はあるものの、新規駐車場の開拓は順調に推移し、既存駐車場についても積極的な売上増加策を進めることにより、売上は増加傾向にあります。

一方で、新規開拓の加速化に伴い、賃料等の原価が先行し、売上総利益率が前期に比べて若干低下しております。

今後につきましては、当期本格稼働した営業支援ツールを活用し、賃借駐車場の新規開拓については開拓のペースを落とすことなく引き続き積極的に進めてまいります。既存駐車場については細やかな周辺状況の把握等により収益性の向上を目指してまいります。

保有駐車場用地については、積極的にコンパクトシティ化を進めている地方都市を中心にその取得を進め、太陽光発電所用地についてはメガソーラーの設置が可能な土地の取得に注力してまいります。

なお、平成26年9月期の業績予想数値につきましては、平成25年11月6日付公表の予想から修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,507	1,770
売掛金	59	76
前払費用	434	517
その他	46	54
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	2,046	2,419
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	806	777
土地	14,022	14,102
リース資産(純額)	1,561	1,700
その他(純額)	812	728
有形固定資産合計	17,203	17,309
無形固定資産	34	27
投資その他の資産	343	319
固定資産合計	17,582	17,655
資産合計	19,629	20,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	113	128
1年内償還予定の社債	40	40
短期借入金	—	150
1年内返済予定の長期借入金	1,031	1,038
未払法人税等	134	265
賞与引当金	29	14
その他	610	642
流動負債合計	1,958	2,279
固定負債		
社債	330	300
長期借入金	8,231	7,646
リース債務	1,270	1,356
その他	461	485
固定負債合計	10,293	9,787
負債合計	12,251	12,067

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,611	1,630
資本剰余金	1,641	1,660
利益剰余金	4,334	4,909
自己株式	△100	△100
株主資本合計	7,486	8,099
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	5
繰延ヘッジ損益	△184	△179
評価・換算差額等合計	△182	△173
新株予約権	73	81
純資産合計	7,377	8,007
負債純資産合計	19,629	20,075

(2) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,568	7,483
売上原価	4,622	5,442
売上総利益	1,946	2,040
販売費及び一般管理費	703	748
営業利益	1,243	1,291
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	0	—
保険返戻金	0	—
未払配当金除斥益	0	1
その他	0	0
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	211	194
その他	5	3
営業外費用合計	217	197
経常利益	1,028	1,096
特別利益		
固定資産売却益	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
固定資産除却損	13	15
特別損失合計	13	15
税引前四半期純利益	1,014	1,105
法人税等	401	438
四半期純利益	612	667



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、駐車場の開拓および運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。